

文化祭に臨んで

校長 近藤哲生

令和元年度の文化祭演芸部門を今年も、ここ佐伯文化センターにおいて実施することができました。これは、本校の生徒・保護者はもとより文化センターや文化協会佐伯支部や地域の方々、本校に関心を持ってくださる方々など多くの皆様のご理解とご協力のおかげです。

地域の方々と一緒に文化祭を行うようになって6年目です、佐伯高校は地域の学校であり、将来の佐伯地区を背負って立つ人材育成の場であること、生徒が佐伯地区の文化や歴史を知るチャンスとしてはじめられたと聞いています。また私はこの文化祭を広く佐伯高校の教育活動を皆様に知っていたただけの場だと思っています。部活動や総合的な学習の時間の成果発表などを中心に、ともすると文化祭は「お祭りの」な陽気さ、明るさが強調、優先されてしまう傾向があるなかで、魅力的で創造力豊かな発表をしようとするこの試みは大変有意義な企画であると思います。

どうか生徒の皆さんには高校生らしさを持って、マナーを守り「文化的」な面と「お祭りの」な明るさの両面を兼ね備えたバランスのとれた楽しい文化祭を創造していただきたいと思います。生徒全員が一致協力し、地域の方々とともに文化祭を盛り上げ、仲間とともに明日の学力につながる充実した発表を大いに期待したいと思います。

ご来場される皆様方には、これまで生徒たちが「学び合い、励まし合い、支え合い」の精神で準備してきた「文化祭」を心ゆくまでご覧いただくとともにで明るく学校生活を謳歌する本校生徒の伝統・校風にも触れていただければ幸いです。

今後とも皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。